

会 議 録（概要）

会議の名称	令和４年度第４回ベストミックス構築部会
開催日時	令和５年１月３０日（月） 午後１５時００分開会 午後１６時００分閉会
場所	Web 開催（佐渡市役所（本庁舎）会議室棟 第４会議室）
議題	（１）脱炭素先行地域の課題解決に向けた意見交換
会議の公開・非公開	公開
出席者	佐渡市地域循環社会推進協議会 (株)アドバンテック 渡辺産商(株) 佐渡連合商工会 (株)第四北越銀行 佐渡明電サービス(株) サンフロンティア不動産(株) (福)勇樹会 NTT 東日本（東日本電信電話(株)） <事務局> ・佐渡市 総合政策課 地域エネルギー係 係長 渡部達也 総合政策課 地域エネルギー係 主事 北見航希 ・大日本コンサルタント(株)
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	０人
備考	

会議の概要（主な発言等）

1 開会

2 議題1）脱炭素先行地域の課題解決に向けた意見交換（地域エネルギー会社設立）

- ・地域新電力事業は太陽光発電をメインに考えているのか。ベストミックスを考えないと事業は大赤字になると思う。新電力事業で売電をする場合は電力が足りない時に供給をどうするかなど、課題解決策を考えておく必要がある。
- ・太陽光発電だけでなく、省エネ、EMS、バイオマスなども事業に含まれている。電力小売りを始めた際にインバランス含め電力受給調整を考えることになるが、まずはできるところから発電設備の導入や蓄電池の導入を図りながら、東北電力との電力融通などの交渉を進めるためにも組織を作る必要があると考えている。
- ・脱炭素化に向けては東北電力の協力が必要であり、その中で地域新電力を作るのは良いと思うが、東北電力から合意を得られるかがポイントとなるだろう。会社設立自体は難しくないと思うが、運営に関しては佐渡市からのバックアップが必要である。
- ・地域新電力事業を成立させるためには、どうしたら東北電力からの電力と再エネを共存させてベストミックスしていけるかを話し合うべきで、今その解決策がないがそこを探らなければならないのが現状である。
- ・佐渡市は土地が広大で居住区も分散しており、一つの組織が負担することはハードルが高いと思うので、電気をどのように運ぶかも検討が必要である。
- ・地域新電力会社が資金を必要とした場合、資金融資が考えられるが、事業の採算性をしっかり見ていかないと融資が難しい場合もあるため、検証しながら進めていくことが必要である。
- ・我々の施設で昨年と比べ電気代が2～3倍になっている現状を考えると、規模が小さいと新電力会社を作ってもうまくいかないのではないかとPPA事業だけであればやっていけるかと考えている
- ・佐渡市では、もみ殻や汚泥等の廃棄物の処理に困っている。実際にある島で廃棄物を活用して発電を行っている事例があるが、そういう技術を応用しながらエネルギー源の確保を考えていきたい。
- ・関連会社にエネルギー事業をやっている会社があり、新電力に出資などしているので真摯に検討したいと思う。また、設備導入をする際には売り先がある程度確定しないと、補助金だけ使って物を入れて発電したけどお金にならないといったことになるので、事業計画を策定しておく必要があると考える。
- ・民間活力を存分に活かした取組が必要と考えているので、エネルギー事業や脱炭素事業の受け皿になっていただき、地元還元できると有難い。引き続き、東北電力とも連携を図りながら行政としてもサポートしていきたいと考えている。